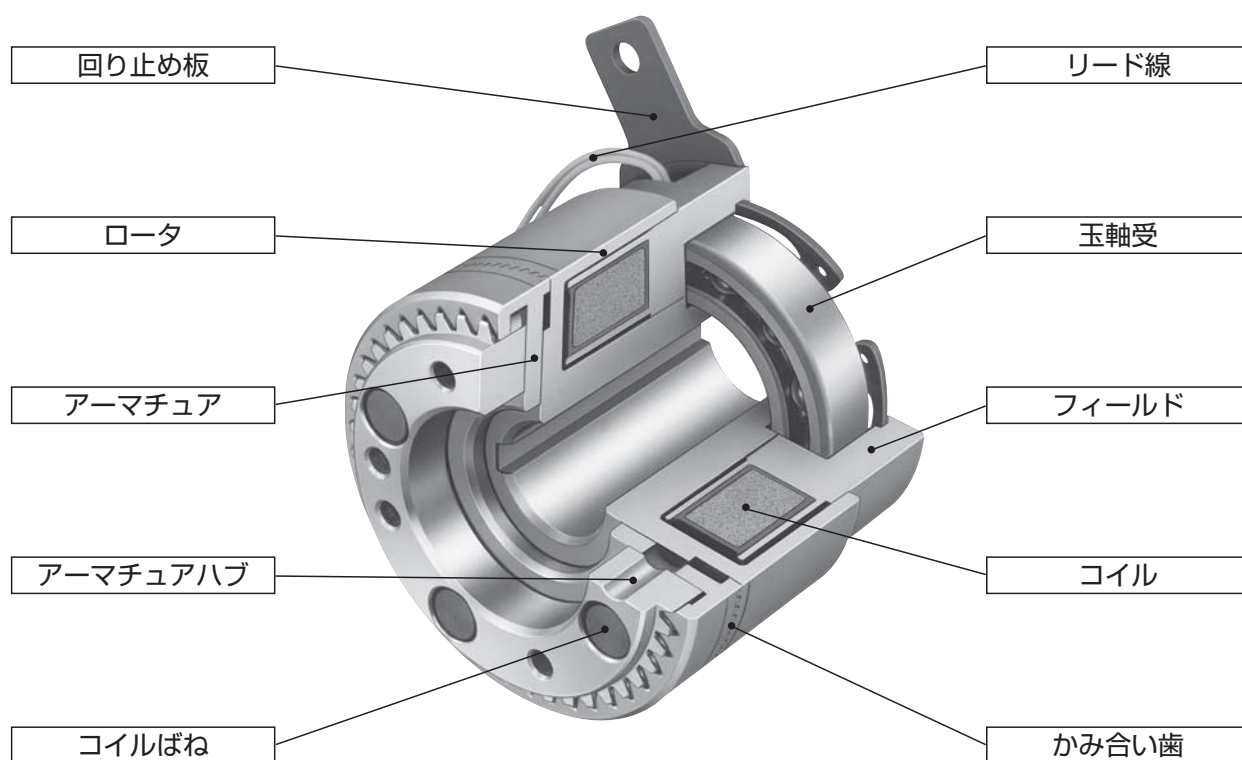


構造と動作

フィールド（静止部）、ロータ（回転部）およびアーマチュアハブ組立（回転部）の主要3部品で構成されており、ロータとアーマチュアの吸引面には、かみ合い歯を形成しています。50形以下はフィールドがロータに玉軸受で支持された回り止め方式、100形以上はフランジ取付け方式です。

コイルに通電すると、フィールド、ロータおよびアーマチュア間に磁束を発生し、アーマチュアはロータに吸引されて、両方の歯がかみ合い、クラッチは連結します。

励磁を切ると、コイルばねによりアーマチュアは切り離されて、クラッチは解放します。



MZ形 クラッチ